


電気用品安全法の技術基準の解釈別表第十二に提案する規格の概要

委員会	第 34 小委員会
事務局	一般社団法人 日本照明工業会

<規格情報>

規格番号（発行年）	JIS C 8280（202X）
対応国際規格番号（版）	IEC 60238（第 9.2 版 2020）
規格タイトル	ねじ込みランプソケット
適用範囲に含まれる主な電気用品名	キーレスソケット，ランプレセプタクル，アダプター，キーソケット，プルソケット，ボタンソケット
廃止する基準及び有効期間	J60238（H27）有効期間 3 年間

<審議中に問題となったこと>

<p>特になし。</p> <p><補足></p> <p>(1) 対象製品について：</p> <p>一般照明用ランプ及び産業用照明設備用ランプなどに用いるための，ねじ込みランプソケットを対象とする。（右図参照）</p> <p>(2) 今回の改正の趣旨：</p> <p>対応国際規格である IEC 60238（Edison screw lampholders）の第 9.2 版（2020 年 1 月発行）に対応して，我が国の安全法令で引用するランプソケットの技術基準とするために改正を行った。</p>	
--	--

<主な国際規格との差異の概要とその理由>

現在の別表第十二に採用されている技術基準とは相違する主なデビエーション

項目 番号	概 要	理 由
箇条 1	スイッチ付ランプソケットの種類を使用実態に合わせ，E12，E14，E26 とした。また日本で使用していない E26d ランプソケットに対する規定を削除した。	この規格で取り扱うランプソケット種類を明確にするため
3.8	旧版では，“screw shell”を“受金”としていたが，JIS C 7709-2 で規定している“受金”と定義が異なるため，この規格では“screw shell”を“受金ねじ部”とし注釈 3 を追加した。	JIS C 7709-2 で規定される“受金”との差異について明確にするため
6.4	旧版で差異事項として追加していた“ㇿ”表示に関する規定は，使用実態がないため削除した。	対応国際規格への整合のため

電気用品安全法の技術基準の解釈別表第十二に提案する規格の概要

7.2	旧版で差異事項として追加していた防雨形ランプソケットに関する規定は、別表第四の引用であり JIS C 8300 で対応可能なため削除した。	対応国際規格への整合のため
8.1	旧版で差異事項として追加していた定格 300V 及び定格 600 V のランプソケットの定格パルス電圧の表示に関する規定を削除した。	対応国際規格への整合のため
8.1	旧版の端子をもつランプソケットの製造業者が適用できる電線の断面積を宣言する場合の、断面積（又は断面積の範囲）及び種類の表示に関する差異事項は、別表第四の引用のため削除した。	対応国際規格への整合のため
8.2	旧版の器具内用ランプソケットに、機器用又はキを表示する内容の差異事項は、別表第四の引用のため、削除した。	対応国際規格への整合のため
9.1	E5 ランプソケットの受金の寸法は、 IEC 60061-2 の受金シートに適合しなければならない旨の差異事項を追加した。	E5 ランプソケットの受金の寸法の規定を明確にするため
9.1	IEC 60399 への適合を要求するのは、シェードホルダリングの互換性を意図している場合だけに限定した。また、 JIS C 7709-2 と同様に測定器による判定を可能とする差異事項を追加した。	互換性を意図しない製品に対する配慮のため
9.2	旧版では E11, E12, E17, E26 及び E39 ランプソケットの電氣的接続試験の可否を対応する電球によって判定することとしていたが、 図 18B 又は 図 18C に規定する寸法を測定することにより判定する内容に変更した。	ランプソケットの電氣的接続試験方法及び合否判定方法を明確にするため
9.2	寸法形状が IEC 規格に整合し、従来の JIS C 8302 と異なる E26 ランプソケットについて、 IEC 60061-3 のシート No.7006-25J のゲージによる判定を追加した。	ランプソケットの電氣的接続試験方法及び合否判定方法を明確にするため
9.4	我が国で使用されているランプソケットの外側枠のねじ部の寸法を規定した。	ランプソケットの種類と寸法を明確にするため
12.2	ドームと外側枠間の接地連続性の判定試験方法について、E39 ランプソケットのトルクの差異事項を追加した。	我が国の配電事情に合う製品を規定するため
13.6	コードの仕様として、旧版では別表第一を引用していたが、 JIS C 3010 の引用に変更した。	別表第一の位置づけが通達となったため、同等の内容の JIS の引用に変更した

電気用品安全法の技術基準の解釈別表第十二に提案する規格の概要

13.8	器具内用を意図しない背板形ランプソケット(ランプレセプタクル)の寸法要求事項をEZ10及びEZ14ランプソケットに適用しない旨の差異事項を追加した。	対応国際規格への整合のため
13.12	旧版で削除していたソケットアウトレットに関する規定を追加した。	対応国際規格への整合のため
14.3	旧版で差異事項として追加していたスイッチ付き分岐ソケットに関する規定を削除した。	スイッチ付き分岐ソケットは、本規格で取り扱わないため
16.2	外側枠、受金ねじ部及びドームの機械的強度試験に使用する試験用口金に、我が国で取り扱うランプソケットの試験用口金図 18A を追加した。	我が国の配電事情に合う製品を規定するため
18.1	表 13a)及び表 13b)の定格電圧 250 V 及び 500 V に対する空間距離を、300 V 及び 600 V に適用できるように定格電圧の値を書き加えた。	対応国際規格の改正動向を先取りした
18.1	表 13a)及び表 13b)において、照明器具内へ取り付けランプソケットの充電部と照明器具の取付面間の絶縁距離は、JIS C 8105-1 の表 11.1 に規定されている旨を差異事項として追加した。	我が国の配電事情に合う製品を規定するため
箇条 19	通常動作の試験に使用する試験用口金に、我が国で取り扱うランプソケットの試験用口金図 18A を追加した。	我が国の配電事情に合う製品を規定するため
図 12	我が国で使用されているランプソケットのドームとねじを切った差込口の間の接続強度試験条件を追加した。	我が国の配電事情に合う製品を規定するため
図 18B 及び 図 18C	E26 ランプソケットの寸法 A、 α 及び β について、上限値を規定した。磁器製の寸法 A は標準寸法だけであったが、上下限値を明確にした。また IEC 60061-3 のシート No.7006-25J のゲージによる判定を追加した。	ランプ着脱の互換性の確保及び感電に対する保護を両立させるため

<主な改正点>

主な改正点は、次のとおりである。

箇条	題名	改正点	意図
3	用語及び定義	絶縁協調に関連する 10 の用語と定義を追加した。	対応国際規格への整合。

電気用品安全法の技術基準の解釈別表第十二に提案する規格の概要

10.2	感電に対する保護	E5 及び E10 ランプソケットの引張試験の規定を追加した。	対応国際規格への整合。
11.1	端子	標準定格電流において15 Aを超えるランプソケットはないため、端子に接続する導体の断面積を規定するランプソケットの定格電流を15 A 以下に変更した。	ランプソケットの実態に合わせる。
18.1	沿面距離及び空間距離	対応国際規格及び引用規格である JIS C 8105-1(照明器具—安全性要求事項通則)に合わせ、沿面距離及び空間距離を変更する。	対応国際規格への整合。
21.1	耐熱性, 耐炎性及び耐トラッキング性	IEC 60695-10-2:2003 及び JIS C 60695-10-2:2008 で、へこみ深さによる判定方法が、直径による方法よりも再現性が低いことが示されているため、この内容を削除した。	対応国際規格への整合。

技術基準との整合確認書

規格番号：JIS C 8280 (202X) 規格名：ねじ込みランプソケット

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4	4 一般要求事項 ランプソケットは、通常使用で確実に機能し、かつ、人及び周囲に危険を与えない設計及び構造であることを要求している。	
第二 条 第 2 項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 9 箇条 11 12.3 箇条 13 14.4 箇条 17 18.2	9 寸法 (9.7 を除き、全細分箇条を含む) ランプソケットの寸法を規定している。 11 端子 (11.1,11.2.1, 11.2.2 及び 11.10 を除き、全細分 箇条を含む) ランプソケットへの接続方法の要求事項を規定している。 12.3 保護接地端子は、手によって偶然にねじなし端子を緩 めることが、可能であってはならない。 13 構造 (13.2,13.4,13.6 及び 13.7 を除き、全細分箇条 を含む) ランプソケットに対する構造要求を規定している。 14.4 スイッチ付きランプソケットは、スイッチの可動部分と電源電線との間の偶発的な接触が発生しない構造でなければならない。 17 ねじ、通電部及び接続 (17.1 を除き、全細分箇 条を含む) ねじ、通電部及び接続に関する構造・材料等を規定している。 18.2 シール用コンパウンドは、へこみの縁で、突出してはならない。	
第三条	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 17	17 ねじ、通電部及び接続 故障した場合に安全性を損なう可能性がある場合、ねじ、通電部及び機械的接続は、通常の使用において発生する機械的応力に耐えなければならないことを規定している。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		計されるものとする。		20.3 箇条 22	20.3 接点及びその他の通電部分は、過度の温度上昇を防止するような構造でなければならない。 22.1 過度の残留応力（自然割れ）に対する抵抗力 銅又は銅合金の残留応力による損傷に対する抵抗力について要求事項を規定している。	
第三 条 第2 項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前項の規定による措置のみによつてはその安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	■該当 □非該当	箇条 8	8 表示（ 8.3,8.4 及び 8.5 を除き、全細分箇条を含む） ランプソケット本体又は製造業者のカタログ、若しくは取扱説明書に表示記載する情報について規定している。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	■該当 □非該当	12.4 箇条 19 20.1 箇条 21 箇条 22	12.4 保護接地端子に使用する金属は、保護接地導体の銅との接触で発生する腐食のおそれがない材質でなければならない。 19 通常動作 通常の使用によって、過度の摩耗又はその他の通常の使用を阻害する変化があつてはならない。 20.1 ランプソケットは、十分な耐熱性をもたなければならない。 21 耐熱性、耐炎性及び耐トラッキング性 使用する材料の、耐熱性、耐炎性、耐着火性、耐トラッキング性に対する要求事項を規定している。 22 過度の残留応力（自然割れ）及びさび（錆）に対する抵抗力（全細分箇条を含む） 銅又は銅合金の残留応力による損傷に対する抵抗力及び鉄部品の防錆保護について要求事項を規定している。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 7 箇条 8 箇条 15 15.1 15.2 15.3 21.5	7 分類 外郭部品の材料、水の浸入に対する保護度、固定方法、スイッチの有無、感電保護及び熱耐久性によって分類している。 8 表示 ランプソケット本体又は製造業者のカatalog、若しくは取扱説明書に表示記載する情報について規定している。 15 耐湿性、絶縁抵抗及び耐電圧 15.1 防滴形ランプソケットの外郭は、水の浸入に対して必要な保護等級を備えなければならない。 15.2 防滴形ランプソケットのインレット開口部は、電線を伝う水滴がランプソケットの内側に達するおそれがないような方法で、電源電線の接続ができなければならない。 15.3 ランプソケットは、通常の使用状態で起こり得る湿度条件に耐えなければならない。 21.5 防滴形ランプソケットの場合、耐トラッキング性のある材料を使用することを規定している。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	10.5 11.2.2 14.2	10.5 次のランプソケットの外郭部品は絶縁材料製でなければならない。 — 防滴形ランプソケット — 250 V を超える定格電圧のランプソケット — スイッチ付きランプソケット — E5 及び E10 ランプソケット 11.2.2 平形差込み端子又は丸形差込み端子の端子は、JIS C 8105-1 の第 15 章に適合しなければならない。{JIS C 8105-1 の 15.3 一般要求事項} 14.2 スイッチ付きランプソケットは、13.3 の構造要求事項及び 14.3～14.5 の追加要求事項、又は JIS C 4526-1 の	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第六条 続き				箇条 15 21.1 21.5	<p>関連要求事項に適合しなければならない。</p> <p>15 耐湿性、絶縁抵抗及び耐電圧 ランプソケットには、耐湿性を要求している。</p> <p>異極充電部間、充電部と外部(金属)部品との間に要求される絶縁抵抗及び耐電圧を規定している。</p> <p>21.1 絶縁材料 接点を保持する部分、絶縁材料製ランプソケットの外付け部分及び導電性の外面をもつ絶縁材料製の外付け部分は、耐熱性でなければならない。</p> <p>21.5 防滴形ランプソケットの場合、充電部又はELV 部分を正しい位置に保持する絶縁用部品は、十分な耐トラッキング性をもたなければならない。</p>	
第七条	感電に対する保護	<p>電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。</p> <p>一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 10 10.1 10.2 10.3 10.4 14.5 箇条 15	<p>箇条 10 感電に対する保護</p> <p>10.1 ランプ口金の挿入中に充電部になるとき、ランプ口金に接触できないように設計しなければならない。</p> <p>10.2 外郭付ランプソケット及び独立形ランプソケットの外部部品は、通常ランプを挿入し使用可能な状態となったランプソケットの充電部が、可触とならないように設計しなければならない。</p> <p>10.3 口金との偶発的接触を防止する目的の部品は、固くかん合しているランプを取り外すとき、又はシェードを回転する場合に、外れることがないように確実に固定されていなければならない。</p> <p>10.4 感電に対する保護を備えた部品の間にシェードを固定してはならない。</p> <p>14.5 スイッチ操作部は、充電部から効果的に絶縁しなければならない。また、スイッチ操作部が折れるか又は損傷した場合に、充電部が露出してはならない。</p> <p>15 耐湿性、絶縁抵抗及び耐電圧 ランプソケットには、耐湿性を要求している。</p>	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第七条 続き				20.4	異極充電部間、充電部と外部(金属)部品との間に要求される絶縁抵抗及び耐電圧を規定している。 20.4 試験中は、ランプソケットは、特に次の点において、その後の使用を阻害するいかなる変化も受けてはならない。 － 感電保護の低減 － シール用コンパウンドの流出	
第七条 第2号	感電に対する保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	箇条 4 箇条 12 12.1 12.2	4 一般要求事項 ランプソケットは、通常使用で確実に機能し、かつ、人及び周囲に危険を与えない設計及び構造であることを要求している。 箇条 12 接地接続の手段 12.1 保護接地を口出し線以外によって行う、ねじを切った差込口があるランプソケット、コードグリップランプソケット及び背板形ランプソケット(ランプレセプタクル)は、一つ以上の保護接地端子をもたなければならない。 12.2 保護接地端子のないランプソケットの場合、絶縁破壊したときに充電部となる可触金属部分は、確実な保護接地を施せる手段が備わっていなければならない。	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	12.5 13.2 13.4 13.7	12.5 締付ねじを含むコードの固定用の金属製部品は、保護接地回路から絶縁しなければならない。 13.2 電源電線が接触する可能性のあるランプソケットの部品は、鋭い縁又は絶縁を損傷するおそれのある形状があってはならない。 13.4 ランプソケットの金属製受金ねじ部と金属製外側枠との接触は、絶縁用リングによって防止しなければならない。 13.7 ねじを切った差込口があるランプソケット中にねじ込むことを意図したつり下げ装置は、 13.2 の要求事項を	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第八条 続き				14.3 14.5 15.1 15.4 箇条 18 18.1 箇条 19 箇条 21	<p>満足しなければならない。</p> <p>14.3 スイッチ付きランプソケットは、絶縁抵抗試験及び耐電圧試験に耐え、良好な動作状態でなければならない。</p> <p>14.5 スイッチ操作部は、充電部から効果的に絶縁しなければならない。また、スイッチ操作部が折れるか又は損傷した場合に、充電部が露出してはならない。</p> <p>15.1 ランプソケットは、15.4 に規定する耐電圧試験に耐えなければならない。</p> <p>15.4 絶縁抵抗及び耐電圧は、次の箇所において、適切でなければならない。 a) 異極の充電部間。</p> <p>18 沿面距離及び空間距離</p> <p>18.1 沿面距離及び空間距離は、ランプソケットを通常の使用状態のように取り付け、ランプをランプソケットの中に挿入するとき、表 13a)及び表 13b) に示す値以上でなければならない。</p> <p>19 通常動作 試料は、9.2 の要求事項を満足し、15.4 の耐電圧試験に耐えなければならない。</p> <p>21 耐熱性、耐炎性及び耐トラッキング性 使用する材料の、耐熱性、耐炎性、耐着火性、耐トラッキング性に対する要求事項を規定している。</p>	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	■ 該当 □ 非該当	箇条 21 21.2 21.3	<p>箇条 21 耐熱性、耐炎性及び耐トラッキング性</p> <p>21.2 感電に対する保護を備えた、絶縁材料製の外付け部品（外側枠、受金ねじ部、ドーム又は背板）及び充電部又は ELV 部分を正しい位置に保持する絶縁材料製部品（端子及び接点組立部品）は、耐炎性及び耐着火性でなければならない。</p> <p>21.3 感電に対して保護する導電性外面を含む絶縁材料の外郭部品及び ELV 部を所定の位置に保持する絶縁材料部</p>	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第九条 続き				21.4	品には、JIS C 60695-2-11 によるグローワイヤ試験を行う。 21.4 充電部又は ELV ランプのコンタクトを保持する、絶縁材料の部品には、JIS C 60695-11-5 によるニードルフレーム試験を行う。	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4	4 一般要求事項 ランプソケットは、通常使用で確実に機能し、かつ、人及び周囲に危険を与えない設計及び構造であることを要求している。	
第 十 一 条	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	箇条 4 9.7 13.2 13.7 14.4	4 一般要求事項 ランプソケットは、通常使用で確実に機能し、かつ、人及び周囲に危険を与えない設計及び構造でなければならない。 9.7 ランプソケットの接点ランプ口金を切削する縁となつてはならない。 13.2 電源電線が接触する可能性のあるランプソケットの部品は、鋭い縁又は絶縁を損傷するおそれのある形状があつてはならない。 13.7 ねじを切った差込口があるランプソケット中にねじ込むことを意図したつり下げ装置は、13.2 の要求事項を満足しなければならない。 14.4 スイッチ付きランプソケットは、スイッチの可動部分と電源電線との間の偶発的な接触が発生しない構造でなければならない。	
第 十 一 条第2項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人	■該当 □非該当	11.2.2	11.2.2 平形差込み端子又は丸形差込み端子の端子は、JIS C 8105-1 の第 15 章に適合しなければならない。{JIS C 8105-1 の 15.3 一般要求事項}	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十一 条第2項 続き		体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。		11.10 13.6 箇条 16 17.1 箇条 19	11.10 ランプソケットへの口出し線の固定は、通常の使用状態で発生する機械的な力に耐えなければならない。 13.6 コードグリップランプソケット及びチェーン接続用に設計する全てのランプソケットは、可とうコードを固定する装置を備えなければならない。 箇条 16 機械的強度 ランプソケットの機械的強度の要求事項を規定している。 17.1 ねじ及び機械的接続は、これらが故障したとき、ランプソケットの安全性を損なう可能性がある場合、通常の使用において発生する機械的応力に耐えなければならない。 箇条 19 通常動作 絶縁及び偶発的な接触に対する感電保護は、通常の使用によって、低下してはならない。ライニング(裏打ち)、障壁及び類似のものは、十分な機械的強度をもち、確実に固定しなければならない。	
第十二 条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	ランプソケットは、一般に、化学物質が流出し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがない。
第十三 条	電気用品から発せられる電磁波による危害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	ランプソケットには電磁波発生要因がない。

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十四条	使用方法を考慮した安全設計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 4 箇条 20 箇条 21	4 一般要求事項 ランプソケットは、通常使用で確実に機能し、かつ、人及び周囲に危険を与えない設計及び構造であることを要求している。 20 熱耐久性 ランプソケットの熱耐久性に対する要求事項を規定している。 21 耐熱性、耐炎性及び耐トラッキング性 使用する材料の、耐熱性、耐炎性、耐着火性、耐トラッキング性に対する要求事項を規定している。	
第十五条	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	ランプソケットは始動・停止をしない。
第十五条第2項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第十五条第3項	始動、再始動及び停止による危害の防止	電気用品は、不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第十六条	保護協調及び組合せ	電気用品は、当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し、異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定すると	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	11.1 11.2.1	11.1 ねじなし端子をもつランプソケット、器具内用ランプソケット及び特別な導体を取り付けるランプソケットは、製造業者が宣言した断面積の導体が、正しく端子に取り付けられる構造でなければならない。 11.2.1 非可とう（単線又はより線）導体及び可とうケーブル又はコードの両方に同じく適合する端子を備えていな	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 十 六 条続き		もに、安全装置が作動するまでの間、回路が異常な電流に耐えることができるものとする。		箇条 17	なければならない。 17 ねじ、通電部及び接続故障した場合に安全性を損なう可能性がある場合、ねじ、通電部及び機械的接続は、通常の使用において発生する機械的応力に耐えなければならないことを規定している。	
第 十 七 条	電磁的妨害に対する耐性	電気用品は、電氣的、磁氣的又は電磁的妨害により、安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			ランプソケットは電氣的、磁氣的又は電磁的妨害を受ける要素を持っていない。
第 十 八 条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当			ランプソケットには雑音を発生する要因がない。
第 十 九 条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	箇条 8	8 表示 ランプソケット本体又は製造業者のカタログ、若しくは取扱説明書に表示記載する情報について規定している。	
第 二 十 条	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか当該各号に定めるところによる。 一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のもの）に限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第 二 十 条続き		換気扇を除く。) 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法（昭和四十八年法律第三十一号）第三十二条の三 第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。） (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨				合規格は不要。
第 二 十 条第2項	表示等（長期使用製品安全表示制度による表示）	二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	同上
第 二 十	表示等（長期使	三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置	<input type="checkbox"/> 該当	—	—	同上

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条項	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
条第3項	用製品安全表示制度による表示)	を有するものを除く。)及び電気脱水機(電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。)機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	■非該当			
第二十条第4項	表示等(長期使用製品安全表示制度による表示)	四 テレビジョン受信機(ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。)機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。 (イ) 製造年 (ロ) 設計上の標準使用期間 (ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨	□該当 ■非該当	—	—	同上